# 給与支払報告 特別徴収にかかる給与所得者異動届出書

◎異動があった場合は、すみやかに提出してください。

| ※処理事項 | 1．現年度　2．新年度　3．両年度 |
|---|---|
| | |

令和　年　月　日

（あて先）

**九重町長殿**

給与支払者（特別徴収義務者）

| | |
|---|---|
| 所在地 | 郵便番号 ― |
| 名称 | |
| 代表者の職氏名印 | 印 |
| 個人番号又は法人番号 | |

| | |
|---|---|
| 特別徴収義務者指定番号 | |
| 個人整理番号 | |

連絡者の係及び氏名並びにその電話番号

| | |
|---|---|
| 係 | |
| 氏名 | |
| 電話 | （　　）　― |

| 給与所得者 | | （ア）特別徴収税額（年税額） | 徴収済月 | （イ）徴収済額 | （ウ）未徴収税額（ア）－（イ） | 異動年月日 | 異動の事由 | 異動後の未徴収税額の徴収 | 1月1日以降退職時までの給与支払額 | 退職手当等の支払額（支払予定額） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| フリガナ | | 円 | 月分から | 円 | 円 | ・　・ | 1．退職(普・障) | 1．特別徴収継続 | 円 | 円 |
| 氏名 | （旧姓　） | | | | | | 2．転勤 | 2．一括徴収（未徴収税額を全額徴収して納付する。） | | |
| 個人番号 | | | | | | | 3．休職 | | | |
| 生年月日 | 年　月　日 | | | | | | 4．長欠 | | | |
| 1月1日現在の住所 | | | 月分まで | | | | 5．死亡 | 3．普通徴収（未徴収税額を本人が納付する。） | 控除社会保険料額 | 勤続年数 |
| 給与の支払を受けなくなった後の住所 | | | | | | | 6．会社解散 | | 円 | 年 |
| | | | | | | | 7．住所誤報 | | | |
| | | | | | | | 8． | | | |

◎給与の支払を受けなくなった後の月割額（未徴収税額）について一括徴収する場合等は、次の欄に記載してください。

| 一括徴収の理由 | 異動者印 |
|---|---|
| 1．異動が令和　年12月31日までで、申出があったため（　月　日申出） | |
| 2．異動が令和　年1月1日以後で特別徴収の継続の希望がないため | |

| 一括徴収できない理由 |
|---|
| （○を付してください） |
| 1．5月31日まで支払われる給与若しくは退職手当等がないため又は未徴収税額より少ないため |
| 2．その他　理由（　） |

| 給与又は退職手当等の支払予定日 | 一括徴収予定額 支払予定日ごとの徴収予定額 | 一括徴収予定額 合計（上記(ウ)と同額） | ※町記入欄 |
|---|---|---|---|
| ・ | 円 | 円 | |
| ・ | 円 | | |

| 月割額 6月分 | 月割額 7月分以降 |
|---|---|
| 円 | 円 |

一括徴収した税額は、　月分（　月　日納期限分）で納入します。

備考

転勤等による特別徴収届出書（左欄外の注意書きを参照してください。）

月割額　円

月分から徴収し

納入する。

給与支払者（特別徴収義務者）

| | |
|---|---|
| 所在地 | 郵便番号 ― |
| フリガナ | |
| 名称 | |
| 代表者の職氏名印 | |
| 個人番号又は法人番号 | |

| | |
|---|---|
| 特別徴収義務者指定番号 | |

連絡者の係及び氏名並びにその電話番号

| | |
|---|---|
| 係 | |
| 氏名 | |
| 電話 | （　　）　― |

| 給与支払方法及びその期日 | 払込を希望する金融機関の所在地及び名称 | 経理責任者氏名 |
|---|---|---|
| | | |

「指定番号」「個人整理番号」の欄には通知書に指定された番号を必ず記入してください。

御注意

1　転勤、再就職等により異動後の勤務先で引続き特別徴収を行う場合には、前勤務先で上段の事項を記入し、新勤務先に回付願います。新勤務先では、下段（転勤等による特別徴収届出書）の事項を記入し、また、徴収台帳への記入等必要の手続を済ませたうえで、一月一日の住所地（課税地）の市区町村長に送付してください。

2　**一月一日から四月三十日までの間に退職した者に未徴収税額がある場合は、一括徴収することが義務づけられています。**

3　※印の欄は、届出書において記入する必要はありません。